

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス いろはに		
○保護者評価実施期間	R6年3月1日		～ R6年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	R6年3月1日		～ R6年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年4月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの思いを重視し、柔軟な対応を行うことでご家族含め安心できる環境を提供できている。	送迎時等保護者様との意見交流や、情報共有、子どもの思いを傾聴し、安心して頂けるよう務めている。	新規職員にも教育を行い、必要であれば相談支援や市など、各所関係機関と連携を図る。
2	幅広い活動プログラムにより固定化せず、様々な経験を提供できている。	子どもたち目線での楽しみだけでなく、療育をかけ合わせながら取り組むよう心掛けている。	専門的知識をさらに取り入れながら、公共施設や交通機関などの利用を行い、社会経験を増やす。
3	事情や年齢に合わせた支援を行うことで、居場所作りができています。	思春期の複雑な思いを受け止めるよう受容しながら、最善方法を子どもと一緒に考えている。	大人の傾聴力や受容できるキャパシティを増やし、職場環境をさらに良くできるよう努める。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個々のニーズに対応することを重視し、支援に向ける時間が足りていない現状がある。	人員不足や、支援におけるスタッフの質の向上が必要と思われる。	親と子のニーズが必ずしも合致することはないため、子どもの負担にならないような支援体制をとれるよう、人員確保及び質の向上のため、ミーティング等の機会を増やす。
2	活動プログラムの立案者が固定化していることがある。	個々のニーズに追われ計画的に準備ができる日できない日の偏りがあり、スタッフ間での活動について話す機会が少ない。	スタッフ間でのコミュニケーションを増やし、正社員だけでなくパートタイム職員も含め、積極的な参加ができるよう体制を変えていく。
3			